

# 婦負の野



〒930-0143  
富山県富山市西金屋6682番地  
社会福祉法人めひの野園  
TEL.076-436-0270  
発行責任者 中田 匡  
(表題者)  
高岡市中川上町3の31  
(故) 社浦 秋永先生

## 特集

めひの野園テレビCMはご覧になりましたか?  
CMソング「めひの野園園歌」を紹介します!

笑顔の支援が  
やりがいに!

一緒に働く  
喜びを!

その人らしさを  
大切に!



めひの野園歌

# 『めひの野園に』

作詞・久泉 迪雄  
作曲・土井 浩

一・まっしろな なしの花  
ぼくたちわたしたちの ころのよう  
に けがれのない まっしろな 花。  
それは めひの野園に  
まなぶ みんなのころ。  
澄みわたる空に 命燃えて  
花さながらに 未来が ひらく。

## 特集

# めひの野園テレビCMは ご覧になりましたか？

～CMソング 園歌『めひの野園に』を紹介します～

2023年11月から北日本放送（KNB）で、めひの野園のテレビCMが放映されています。当園職員や利用者の笑顔が溢れるCMには、BGMとして当園園歌『めひの野園に』が流れています。本号では、その歌詞とCM撮影の様子を紹介します。

## 待望の園歌誕生！

当園の園歌『めひの野園に』は、平成5年（1993年）、当法人の設立10周年を記念して制作されました。

作詞は高岡市立美術館館長（当時）で歌人の久泉迪雄氏。作曲は富山短期大学名誉教授で、富山シティフィルハーモニー管弦楽団の名誉団長である土井浩氏（とゐひろし）が手掛けました。

人が持つ純粋な心を「まっしろな梨の花」と表わしたこの歌は、職員や利用者を始め、園の関係者の皆から親しまれ、これまでに当園のイベントや式典で歌い継がれてきました。



2012年に富山国際会議場で開催された「めひの野園設立30周年記念式」では、当時の職員たちによる園歌斉唱が披露されました。

三・あかねさす 丘に愛

ぼくたちわたしたちの

いのちのように きずなかく



## 撮影現場にも笑顔が溢れました。

CM撮影は昨年10月7日、爽やかな秋空の下で行われました。

まず「作業センターふじなみ」で椎茸の摘み取り作業を撮影し、その後「うさか寮」「梨の木苑」の利用者の皆さんと一緒に山歩きへ。カメラを向けられ、最初は緊張した様子も見られましたが、職員と一緒に歩いているうちに気持ちほぐれ、自然と笑顔が溢れてきました。

「いつも通りでいいんだよ」と声を掛け合いながら撮影を終えて完成したCMは、「普段通りの笑顔」が溢れる仕上がりになっていました。



青空の下で山歩きの撮影。



いつも通り「いただきます」も上手に出来ました。



見晴らしも最高でした。



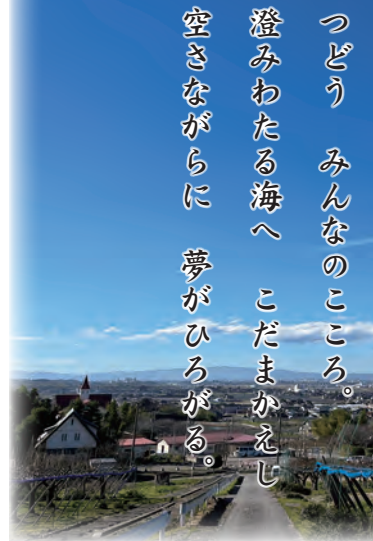
頑張って働く姿も見てください！



緊張しましたが、貴重な経験になりました。

## 本格的なスタジオ収録にドキドキ。

その日の午後は北日本放送（KNB）に移動し、同社のスタジオで園歌の収録が行われました。歌うのは当園の若手職員。もちろん本格的なスタジオでの収録は初めてで、「チューチューブで見た『ファースト・テイク』みたいでドキドキする〜！」と緊張しながらも、一人ずつスタジオに入り、当園で音楽療法の講師を務める緒方薫先生のピアノ伴奏に合わせて、心を込めて歌い切りました。



## 障害者福祉業界のイメージアップに。

現在、福祉業界を取り巻く様々なニュースがテレビ等で報道され、障害者福祉の業界に対してあまりよくないイメージを持たれる方も多いのではないだろうか。「そんな時代だからこそ、こちらから打って出なければ」。中田園長のこのひと声で、当園テレビCMの制作は始まりました。

このテレビCMが多くの方の目に留まり、当園だけでなく、障害者福祉全体のイメージアップにつながることを期待しています。めひの野園のテレビCMは、今春から「富山テレビ（BBT）」、「チューリップテレビ」でも放映が始まります。また、当園のホームページでは、テレビCMの映像に加え、CM撮影時の映像を使った園歌のミュージックビデオも閲覧出来ますので、ぜひご視聴ください。

スタジオで自分の歌声を聞くのは恥ずかしいものでした（笑）。  
記・広報委員会 岡崎 秀徳





家庭も仕事も円満が一番！

「和」を大切に！

久郷 凌

(作業センターふじなみ職業指導員)

高じた趣味を仕事に活かす  
「めひのの職員」紹介します！

あしたのめひの

Vol.30



Instagramにアップした「久郷家の食卓」(写真右)。毎日の愛妻弁当が仕事のモチベーションに(写真左)。

Q. 2人目のお子様のご誕生おめでとうございます。

— ありがとうございます。昨年授かった7カ月の娘と、2歳半の長男、そして妻の4人で慎ましくも賑やかに暮らしています。妻は結婚を機に家事に専念し、それまであまりやらなかった料理の腕前も今ではプロ級です(笑)。料理の写真をインスタグラムに載せ、多くの人に見てもらうことがモチベーションになっています。僕のお弁当も毎日作ってくれています。冷凍食品は使わず、手作りにこだわっています。彩りも良く、センスある愛妻弁当が、僕を仕事で頑張らせる「やる気の素」になっています。

Q. 家事・育児も頑張る「イクメン」ですね？

— 家事は気付いたほうがすることになっていますが、妻は普段から家の中をきれいにしてくれています。子どもの世話をしながら家事もこなす妻は、本当にすごいなと思います。僕も子どものオムツ替えは慣れたものですし、一緒に入ってお風呂の時間も楽しいですね。そうやって家族と過ごしていると「明日も仕事を頑張ろう」という気持ちになります。

Q. 家族で過ごす時間が仕事にも良い影響を与えているのですか？

— 全くその通りです。休日は家族で買い物に出かけたり、子どもと遊んだりし

ています。子育ては今しか出来ないことなので、目いっぱい楽しもうと思っています。そしてそうやって過ごす時間のお陰で、ストレスを感じず、心に余裕を持って仕事に励むことが出来ています。

Q. 家庭と仕事を両立する秘訣はありますか？

— 僕が「作業センターふじなみ」で携わっている椎茸の一貫生産には「仕込み」や「収穫」、「パック詰め」といった様々な工程があります。そこに必要なのは「誰か一人の優れた能力」ではなく、「チームが一つになって取り組む『和』の力」だと思っています。そしてそのためには一緒に汗を流す職員や利用者の皆への感謝の気持ちを大切にしたいですし、家庭でも同じことが言えると思います。そういえば、妻に面と向かって感謝を伝えたことは無いかもしれません。これからちゃんと言葉で伝えていきたいと思っています(照)。

Q. どんな家庭を築いていきたいですか？

— 子どもが大きくなり、妻が働くことになったら、新たなスタートだと思って好きなことに挑戦してほしいですね。夫婦共に仕事と家事・育児の両立を楽しみながら成長していけたらと思っています。

この記事からも奥様への感謝の気持ち伝わればと思います。

記・広報委員会 柴田 香菜江





めひの野園のオススメ新商品をご紹介します！

## Mehino +

めひの プラス



生キクラゲと卵の中華風炒め。

「作業センターふじなみ」の新たな一品

### ●●● 生キクラゲ (1袋¥200) ●●●

めひの野園では、バラエティーに富んだ自慢の品々が生産されています。

新しい商品を開発し、販売に至るまでには、様々な試行錯誤や、利用者の特性とのマッチングを重ねていきます。その結果、これまでにない素晴らしい新商品が生まれることも…？

今回は作業センターふじなみの新たな挑戦で生まれた「生キクラゲ」を紹介します。



生キクラゲならではの食感を、ぜひご賞味ください！

「これからどんどん生産量を増やしていきたい。」と意欲的な水井指導員。

「椎茸の一貫生産のために整備された栽培ハウス等の設備はもちろん、これまでに培ってきたノウハウがあつての生キクラゲ生産だと思っています」と話すのは、ハウス部門の水井指導員。

現在は当園のアンテナショップ「希望」と、営業・販売課による外販のみでの販売ですが、今後はさらに生産量を増やし、地元のスーパーや市場にも卸していきたいと意欲的でした。



乾燥を嫌うキクラゲの栽培に水やりは欠かせません。一日に何度も行う水やりも利用者の大事な仕事です。

コロナ禍が落ち着き、飲食業界も元気を取り戻しつつある今、「作業センターふじなみ」では、次の一手として「生キクラゲ」の一貫生産を始めました。

現在、市場に出回っている乾燥キクラゲは約99%が中国産で、国産の「生キクラゲ」は希少性が高く、肉厚の食感、乾燥キクラゲとはひと味違います。

私は能登が大好きだ。

石川県の大学で生態学を専攻していたこともあって、能登にはたくさんさんの思い出がある。白米千枚田では田植えや稲刈りをしたし、九十九湾の臨海実験施設では泊まり込みでウナギの浸透圧の実験をした。舳倉島ではひどい酔酔いしながらフェリーに揺られ、ヤツガシラ(珍鳥)を見に行つたこともある。中でも一番の思い出は、七尾市の「お熊甲まつり」だ。

この祭りは、毎年9月20日に行われる杵旗祭り、国の重要無形民俗文化財にも指定されている。人手不足の地区が大学生のボランティアを募集していたことがきっかけで、毎年参加するようになった。太鼓やお囃子笛の音が鳴り響き、アドレナリンが出てくるようなお祭り特有の雰囲気と、仲間として歓迎してくれる七尾の人たちが大好きだった。社会人になった今でも都合がつく年はお祭りに出向いている。祭りの時期が近づくとそわそわしてくるのである(笑)。顔を出す「おかえり〜」と家族のように迎えてくれる人たちが心の支えになっているのだと思う。

能登半島地震で、七尾市にも大きな被害があつたが、落ち着いたら「ただいま！」と笑顔で能登に帰って、今度は私が少しでも能登の方たちの支えになりたいと思っている。

## 群竹

muretake

めひの野園職員の  
雑感コーナー



やねのうえのガチョウ  
目標工賃達成指導員  
長谷川 彩香



この度、富山県知的障害者福祉協会からの要請で、1月1日に発生した能登半島地震で被災した社会福祉法人佛子園「日本海倶楽部」での支援に参加させていただきました。

一月中旬にこの話を聞いた時は「ぜひ、行かせてほしい。」と二つ返事でお受けしました。と言うのも、能登は以前から釣りや豊かな自然を楽しむに足を運んでいた大好きな場所だからです。被害状況が明らかになるたびに心を痛め、「何かお役に立ちたい」という思いが募っていました。



早朝の能登町。陥没した道路（写真左）や、倒壊した家屋（写真中）、放置された車（写真上）が被害の大きさを物語る。



## 能登半島地震 災害派遣報告

記：宮舟 貴子（めひの自閉症地域生活支援センター）



施設内は天井が抜け落ち、ブルーシートが張られていました。

私が訪れた「日本海倶楽部」は能登町にあり、能登の海が見渡せる高台に建つ地ビールが人気のレストランや、近くで農場も展開している障害者施設です。施設の壁や天井のあちこちが被災により破損してブルーシートが張られていましたが、地域の中でいち早く水道が復旧したお陰で、施設内はトイレも問題なく使え、地域の方へ風呂の開放もされていました。



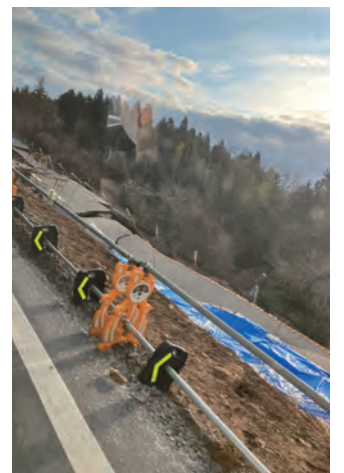
利用者さんとお話すると笑顔が見られました。

これからは、「急性期の支援」から「慢性期の支援」へとフェーズが変わり、息の長い復興への道のりとなっていきます。この災害を忘れず心を寄せ、私たちが出来ることを出来る形で応援していけると良いのではないかと思います。私自身も愛すべき能登の復興を祈り、手を差し伸べていきたいです。いつかまた、釣りなどで能登へ通える日が来るために。

### 能登の復興を祈って…

しかし、一步街に出るとライフラインは寸断されたままで、毎日の給水所通いが必要でした。先行きの不安を抱え、不便な暮らしを送りながらも、施設利用者のために一生懸命取り組み組んでいる職員の方々の姿に心を打たれました。

4泊5日の滞在中、私が携わったのは、施設内の掃除や利用者の見守り、食事介助、入浴介助でした。その中で、全員の利用者が私の肩に手を置き、デイルームを歩いて過ごしたことがありました。目を離すと自分の頭を叩く自傷行為が始まります。それを止め、語りかけながら彼女と過ごした時間が忘れられません。職員の方からの「こうやって一緒に過ごしてもらって、幸せな時間だったと思いますよ」という言葉が心に残りました。被災地支援という活動を通して、利用者への関わりのある方についても大切な気づきを頂いたように思います。



能登に向かう道路は至る所が崩落し、ブルーシートが掛けられていました。



# クリスマス会・忘年会特集

昨年末に各事業所で行われたクリスマス会・忘年会の様子をご紹介します。なお、各事業所のクリスマス会・忘年会には、「NHK歳末たすけあい」による助成をいただいています。



## リサイクル班



リサイクル班は、12月19日(火)にうさか寮でクリスマス会を行いました。食事の後、職員からプレゼントが手渡されました。

生活介護班は、12月21日(木)に呉羽ハイツで美味しい料理とクリスマスケーキを頂きました。

## 生活介護班



## 梨の木苑



梨の木苑のグループホームの皆さんは、12月7日(木)に氷見市の「磯波風」へ日帰り旅行に行ってきました。美味しい海鮮料理をいただき、温泉で疲れを癒してきました。

## 飛騨流葉牧場



飛騨流葉牧場は12月15日(金)に、事業所の食堂で忘年会を楽しみました。

みんなで鍋を囲み、カラオケやゲームを満喫し、交流を深めました。



## 作業センターふじなみ



作業センターふじなみは、12月12日(火)に食堂で忘年会を行いました。みんなが好きなピザやお寿司を食べ、カラオケを楽しんで英気を養いました。



## やねのうえのガチョウ



やねのうえのガチョウは、12月18日(月)に氷見市「磯波風」で忘年会を行いました。宴会で美味しい料理をいただき、温泉に浸かって日頃の疲れを癒しました。



## みしまの工房



みしまの工房は、12月19日(火)に呉羽ハイツの大宴会場でにぎやかなクリスマス会を行いました。美味しい料理やカラオケで楽しいひと時を過ごしました。



## ウォーム・ワーク やぶなみ生産課



ウォーム・ワークやぶなみは、12月12日(火)に食堂で忘年会を行いました。日頃お世話になっている取引先をお願いした弁当を、みんなで美味しくいただきました。

「NHK歳末たすけあい」は、共同募金会を通じて国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられています。



## わたしたちと一緒に働きませんか

めひの野園では、新しい仲間を募集しています。

仕事の内容は様々で、グループホームの世話人や夜間支援員、椎茸の植菌・パック作業員、用務員などです。また、正規職員の生活支援員や看護師も募集しています。

これまで福祉業界での勤務経験が無い方や障害者と関わったことが無い方でも大丈夫。「ぜひチャレンジしてみたい」という熱意のある方なら大歓迎です。



職種によって勤務時間や待遇等が異なりますので、詳細については電話でお問い合わせいただくか、ハローワークの求人掲載内容をご覧ください。また、各種条件面に関する相談にも応じますので、お気軽にご連絡ください。

当園のモットーである「笑顔・挨拶・礼儀」を実践できる方で、障害（主に自閉症）のある人々への理解がある方のご応募をお待ちしています。

また、お知り合いの方で仕事を探している方がおられましたら、ぜひご紹介ください。

【求人に関する問い合わせ先】

電話076(436)0270

担当 事務長 岡部

## ご寄付ありがとうございました。

(2023.12.19～2024.2.16) 敬称略

島田弘義

高岡市

富山福祉短期大学

射水市

富山短期大学

富山市

富山国際大学

富山市

米田 五百子

高岡市

佐藤理容院

富山市

富山大学

富山市

寄付金振込口座番号  
北陸銀行呉羽支店 店番号120  
普通預金6077230  
社会福祉法人 めひの野園

## 来訪者

(2023.12.19～2024.2.16) 敬称略

たいやき鯛漬

湯川 公則

富山市議会議員

高原 謙

北陸銀行呉羽支店

岡田 悠佑

(有)アイシステム

杉木 靖二

富山県火災共済協同組合

長森 智昭

東洋ゴム北陸販売(株)

中村 博一

(株)石橋

川西 スエレン

西金屋自治会

森 政幸

## 後援会名簿

(2023.12.19～2024.2.16) 敬称略

内山 勝子

富山市

安元 明美

射水市

## 編集後記

日本経済新聞社と日経Xwoman(クロスウーマン)が、共働きや子育てのサポートに力を入れている都市をランク付けした「子育てしやすい街ランキング」によると、2023年のトップは千葉県松戸市、次に栃木県宇都宮市、愛知県豊橋市と続く。

どの都市にも共通しているのは、都市圏へのアクセスが整っていること、そして待機児童の解消を達成していることである。特に松戸市は、一時保育支援や家計支援プログラムといった取り組みに加え、家事・育児のヘルパー派遣事業にも積極的に取り組んでいることが評価された。

政府が「異次元の少子化対策」を掲げる中、共働きの両親のサポートや、子育て支援、女性の職場参加への支援に多くの自治体が入力している。

さて今号では、当園の「イクメン」、久郷指導員へのインタビューを掲載した。入職した当時は職員たちから「チャラ男」と茶化されていた彼も今では結婚し、二児の父である。そして当園では様々な商品の生産に情熱を燃やし、将来を嘱望される期待のホープである。

そんな彼に「夫婦円満の秘訣」を聞くと、「妻には絶対に歯向かわないこと」と笑顔で答えた。「亭主関白」とは程遠い彼だが、性別による役割分業にこだわらず、パートナーシップを尊重する姿勢は、同世代の子どもを持つ身としてぜひ参考になりたいものだ。

(岡崎記)